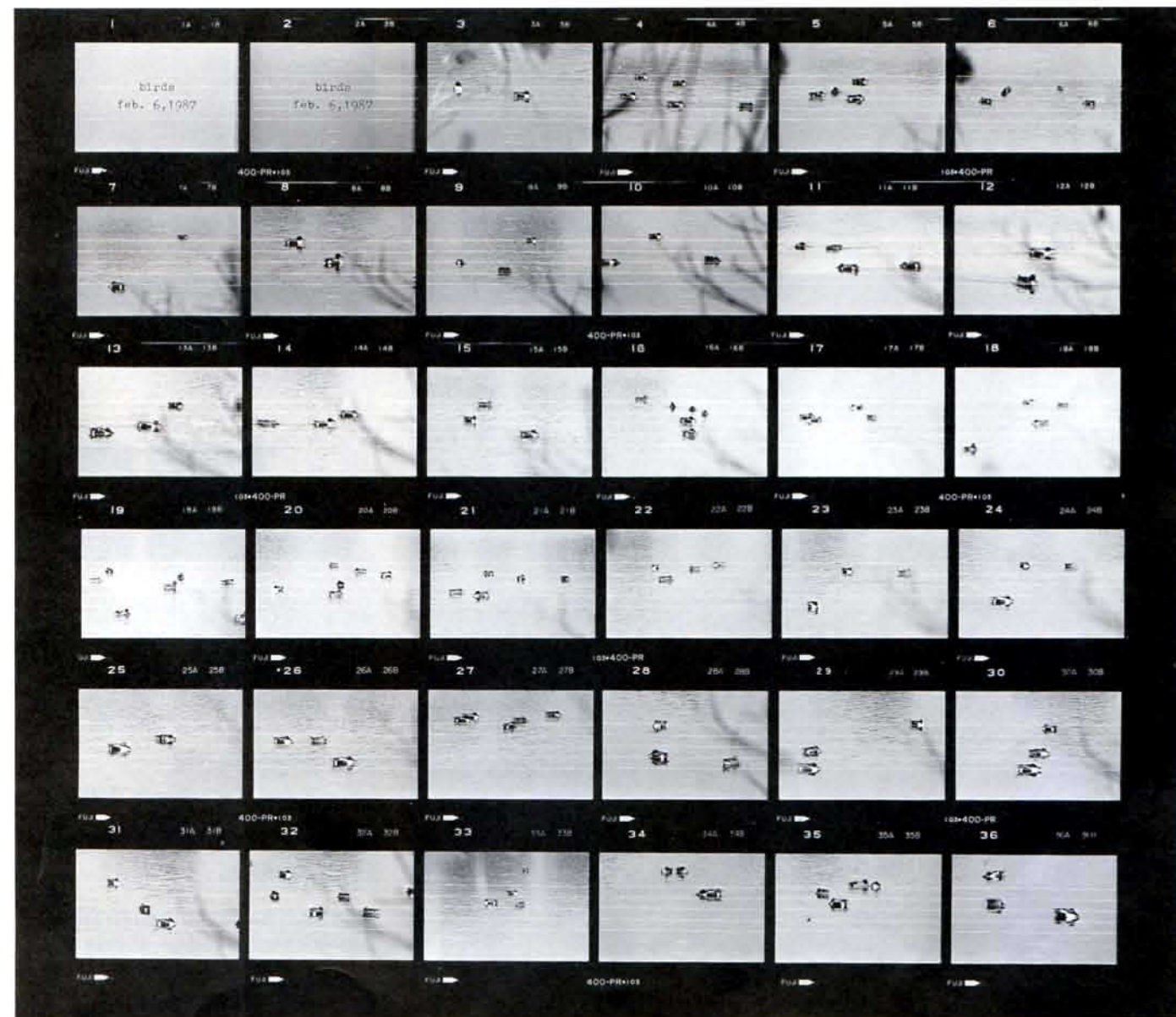


CHRONOSCORE

時間・空間が示すもの HITOSHI NOMURA

野村仁



'birds' score: since 1983 Feb. 6, 1987

会期＝1995年5月30日(火)～7月30日(日)

1995 May.30(Tue)～July.30(Sun)

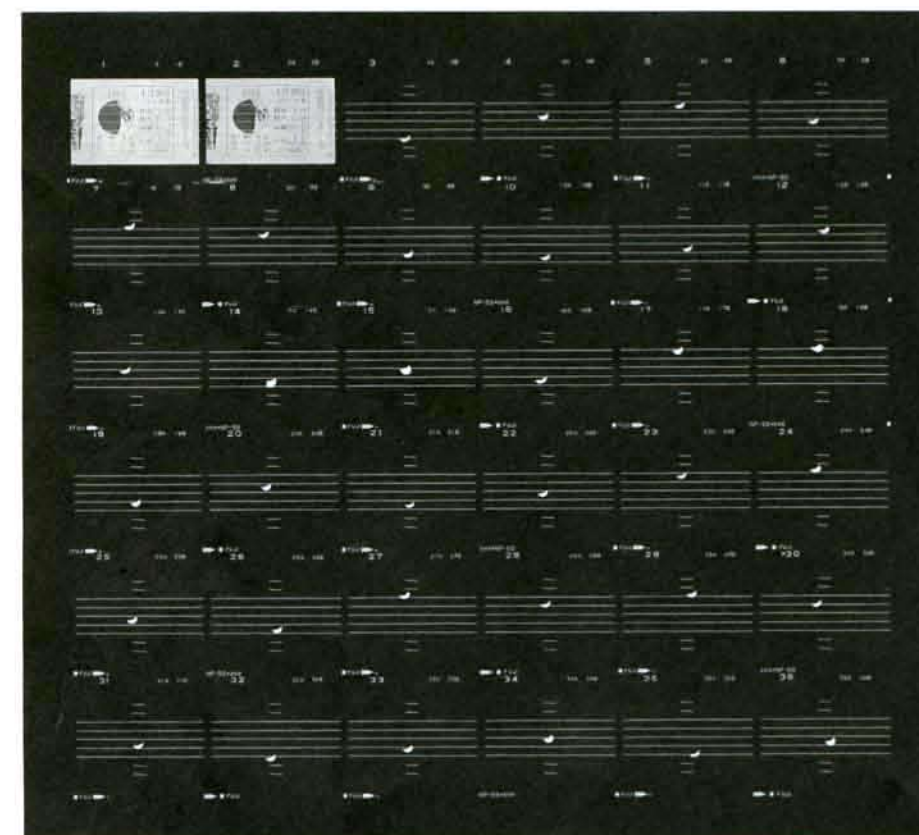
会場＝地下1階映像展示室

主催＝東京都写真美術館

東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography
〒153東京都目黒区三田1-13-3 TEL.03-3280-0031
1-13-1 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153



'birds' score: RNA world or Between Organisms and Non-Organisms 1987 tRNA+Cytochrome-C



'moon' score Jan. 3, 1982

わたしたちがくらしているこの世界は、大きな広がりをもった時間と空間のなかにあります。このような広がり、大きいもののなかにも、小さい世界のなかにも同じく「限りなく」あることの不思議について考えてみたことが誰でもあるのではないのでしょうか。

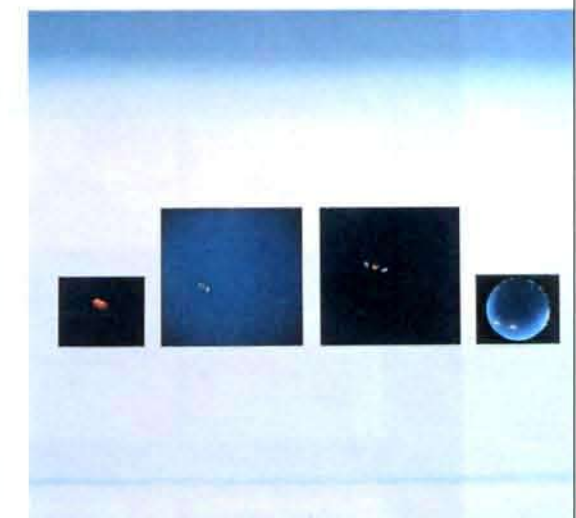
そんな思いから触発されて作品をつくるアーティストも数多くいます。

今回、映像展示室では、そんな作家のひとりである野村仁の作品のなかから、記録された映像(なかいもの)では20年にもなります。)をもとに、音楽を見つけ出した「moon's score」「birds's score」のシリーズを中心に展示します。

1967年に作品を保管していた段ボール箱が、重さと風雨のために風化してしまったのを見て、野村仁は、今にまで続くことになる自分の中心課題を見いだしたようです。直接的に「Tardiology(遅延論)」という作品に結びつくこのエピソードは、ストロマトライト(珊瑚の一種)を撮影した最近作まで含めて、その作品のなかに生きつづけているように思われますが、野村仁は、初期から記録メディアの映像や音声、特に写真を多用しています。地道な観察と記録する行為により、人間のちからの及ばない自然の営為をすくいとることで野村仁は、それを自分の表現として育ててきました。幸福な作家であり幸福な作品たちだといえないでしょうか。もちろんとりわけ観るひとにとってもです。



Analemma 91'-Noon 1991



Transit Across the Shadow 1978-1986

映像工芸館 作品展
Images and Technology Gallery Exhibition

CHRONOSCORE

時間・空間が示すもの

1995年5月30(火)～7月30日(日)

開館時間＝午前10時～午後6時[木・金は午後8時]まで
入館は閉館の30分前まで

休館日＝毎週月曜日

観覧料＝一般・大学生500円[400円]

小・中・高校生250円[200円]

[]内は20名以上の団体料金/常設展示室および映像

展示室の料金と共通

会場＝地下1階映像展示室

主催＝東京都写真美術館

テレフォンサービス＝03-3272-8600

